

帰国報告書 経済学科4年 高桑 大輔

(2017年8月～2018年5月 アメリカ：ノースイースタン州立大学)

私の留学生生活を「学業・人」の2つの観点から説明します。

まず学業の観点から。留学先では学部が指定されていなかったことと、一般教養と他学部の授業に対する関心があったので、2セメスターを通して8つの授業の内6つは経済学以外のことを学びました。特にアメリカ近現代の歴史をアメリカ人の視点で学ぶ授業は、日本人の私からして興味深いものでした。英語の勉強に関して。自らの英語の弱点であるスピーキング力を改善するために、発音記号を一から勉強することや、少しでも発音に不安を覚えた英単語を毎日記録して復習することに取り組みました。結果として留学前後で見違えるほどスピーキング力が上がったので、設定していた目標を達成できて嬉しいです。

次に人の観点から。ノースイースタン州立大学には学生1万人中私を含め3人の日本人学生しかいなかったもので、主に現地のアメリカ人との交流がありました。その中でも私はクリスチャンの学生団体の方たちと留学生生活全体を通して仲良くしていたので、キリスト教に対する関心が彼らとの出会いによって強まりました。結果として私は現地で洗礼を受けてクリスチャンとなり、現在日本でもクリスチャンとして行動しています。

留学資金を家族に頼らずゼロから自分で捻出する必要があったので、経済学会から頂けた奨学金はとても役に立ちました。誠にありがとうございました。